

地域おこし 協力隊通信



地域おこし
協力隊員

松藤 裕也
(移住支援担当)

こんにちは、地域おこし協力隊の松藤裕也です。ずいぶんと暑くなってきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

さて、4月に柴崎新町長が就任し、副町長には元みらい創造課長の黒澤さんが任命されました。我々協力隊としても、新体制のもと、ますます皆野町を盛り上げられるよう協力していきたいと思えます。実は黒澤副町長は、昨年の2月、僕が協力隊に応募した時の担当面接官のひとりであり、僕が皆野町役場で初めてお会いした職員さんでした。その面接の場で僕は、採用されたらこの町でチャレンジしたい事業について当時の土屋副町長、黒澤課長らにプレゼンをし、その後、協力隊に採用された経緯があります。これからもみんなの知恵と行動力を結集し、未来の皆野のために動いていき

たいと思えます。

ちなみに、その面接時にプレゼンさせてもらった僕の提案事業が、今まさに準備している最中の「僕らのミナノベース」の計画なのですが、こちらの方も、地元の方々、皆野町・秩父の仲間たち、役場(主に産業観光課)のバックアップ、そして何より家族の理解と支援により、少しずつですが前進し続けています。「僕らのミナノベース」は大きく分けてキャンパススペースと飲食店舗(カフェバー)から構成されており、これらの運営が事業の柱になります。最初は飲食店舗の予定はなかったのですが、ある三沢のかたとの交流を続ける中で「この辺りにはサテン(喫茶店)がないんだいね」という話を聞いたことにヒントを得、地元のかたがたや外から皆野を訪れたかたがたがゆっくりと語らう場を作りたい、と思いつき、ちょうど近くにあった空き家を改修して素敵なカフェバーを作る計画を立てました。(そうだ、カフェバーの名前は「サテン」にしようかな?笑)

今後とも「僕らのミナノベース」の進展をあたたかくお見守りいただければ幸いに存じます。

先日、僕の住んでいる下日

野沢地区で行われた道路清掃の行事に参加しました。年に二回の行事なのですが、地区の多くのかたと顔を合わせる事ができる貴重な機会なので、都合をつけて出るようにしています。今回もいつもと同じ顔ぶれのメンバーが集まり皆で道路わきの草刈りやゴミ拾い、落ち葉などの除去を行いました。移住して一年以上が経ち、だんだんと地区の皆さんにも気軽に声をかけてもらえるようになり、ふと、この土地になじんでいる自分を発見し嬉しい気持ちになりました。地区のかたがたもおっしゃるように、こういう行事に参加している人の平均年齢もかなり高齢になっており、「あと何年続けられるかわからない」という心配の声も聞きます。皆野町の多くの地区でも同じ状況があるのだと思えます。そういう地区において、僕と同じように若い世代が少しずつ入っていく、いろいろな行事や地区の維持管理がこれからも続けられる体制が取れるようになったらいいな、と改めて感じました。

これから本格的な暑さの到来です。皆さんどうぞお体にお気をつけてお過ごしください。



カフェバーのイメージ図です。

昨年の冬、松藤家全員で参加した三沢でのポピーの種まき。きれいに花をつけてくれました。

